

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	特定高齢者通所型介護予防教室(ゆうゆう健康体操教室事業)	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			Tel 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者(特定高齢者)を対象に、運動機能向上・栄養改善・口腔機能の向上プログラムを通所・集団で提供する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	生活機能評価で特定高齢者とされ、地域包括支援センターが行う介護予防マネジメントで事業参加が望ましいとされたもの	対象とした数	1,234
		実際に 利用した数	40

活動の内容	(何を したか)	①うしぬま荘、緑寿荘を会場に、1コース19回、各会場年間2コース実施。各コース定員20名。 ②教室開始時、終了時に基本チェックリスト等のアンケートおよび体力測定を行い、個人のアセスメントを行い個別プログラムを作成。 ③自宅でも可能なボール・タオル等を使った運動を実施し、参加者の自発的な運動継続意欲を支援する ④運動以外にも、「運動の必要性」「転倒予防」「バランスのとれた食事」「尿失禁予防」「認知症予防」「口腔ケア」の講義を行い、高齢者の健康づくりを多方面から サポートする ⑤教室終了後は、一般高齢者介護予防事業(いきいき健康体操教室)やサークル活動等の参加につなげ、継続的に運動・交流がもてるようにする							
		活動実績	項目名	事業参加者数(教室参加前後で基本チェックリストを行った人数)	35	項目名		項目名	
		単位	人	単位	単位	単位	単位	単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,700	7,946	10,764	31.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	基本チェックリスト(運動器の機能向上)初回と最終回の結果比較	当該年度中「改善」「維持」の数/事業参加者数×100	80	88	110.0
			単位	単位	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	特定高齢者通所型介護予防教室(ゆうゆう健康体操教室事業)					
040409	保健福祉部 高齢者支援課					
開始年度		平成 19 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		高齢者支援グループ				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針				介護保険法				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(2)在宅介護支援対策の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位			・実施計画における位置づけ…			H19 ***	H20 ○
事業開始の背景	平成18年度介護保険法改正によって、要支援・要介護になる前の段階からの一貫した介護予防を推進するため、介護保険制度の枠組みの中に、新たに「地域支援事業」が創設された。「ゆうゆう健康体操教室」は、保健センターで実施した基本健康診査(生活機能評価)のスクリーニングの結果、要支援・要介護になるおそれの高い高齢者(特定高齢者)を対象に実施している教室である。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)										
	要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者(特定高齢者)を対象に、運動機能向上・栄養改善・口腔機能の向上プログラムを通所・集団で提供する。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方						
	生活機能評価で特定高齢者とされ、地域包括支援センターが行う介護予防マネジメントで事業参加が望ましいとされたもの				特定高齢者						
	対象数	単位	平成 18 年度		平成 19 年度	1,234	利用数	単位	平成 18 年度		平成 19 年度
事業の具体的な内容及び実施方法											
①うしめま荘、緑寿荘を会場に、1コース19回、各会場年間2コース実施。各コース定員20名。											
②教室開始時、終了時に基本チェックリスト等のアンケートおよび体力測定を行い、個人のアセスメントを行い個別プログラムを作成。											
③自宅でも可能なボール・タオル等を使った運動を実施し、参加者の自発的な運動継続意欲を支援する											
④運動以外にも、「運動の必要性」「転倒予防」「バランスのとれた食事」「尿失禁予防」「認知症予防」「口腔ケア」の講義を行い、高齢者の健康づくりを多方面からサポートする											
⑤教室終了後は、一般高齢者介護予防事業(いきいき健康体操教室)やサークル活動等の参加につなげ、継続的に運動・交流がもてるようにする											

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点							
事業終了後も自発的に転倒予防・栄養改善・口腔機能向上のための生活習慣が継続できるようなプログラムの実施。終了後の生活については地域包括支援センター担当職員との連携を図り継続した支援を検討した。								

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	8,700	7,792
	決算(見込み含む)			7,946	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	人	0	0.30 人	2,818
	公債費				
	事業費合計		0	10,764	
	財源内訳	一般財源	0	10,764	1,468
		国・県支出金			2,898
		受益者負担金			64
	市債				
	その他			3,362	
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	31.7	
	利用数一単位あたり(単位:円)	***		269,105.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	事業参加者数(教室参加前後で基本チェックリストを行った人数)	計算方法	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						35	50	
	成果分析	基本チェックリスト(運動器の機能向上)初回と最終回の結果比較	当該年度中「改善」「維持」の数/事業参加者数×100			目標値	80	80	
						実績	88		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
					% 達成率		110.0		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	高齢化の進展により、要介護高齢者及び要介護高齢者の増加、住み慣れた地域で元気に暮らした継続するための介護予防の普及が必要となり、当該事業の必要性が増していくことが予測される。					
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
	目標設定	生活機能評価等から把握した特定高齢者に対して体操を中心とした健康づくりを行う。	基本チェックリストや主観的健康感、体力測定等悪化率を20%以内に押さえる。事業参加者のうち、20%程度において要支援・要介護状態への悪化を防止する。	平成20年度中			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
⑨個別計画における方向性	評価理由	健康体操事業は市民のニーズも高く、要支援・要介護状態になることを予防するための重要な事業である。一般高齢者施策との連携を含め、地域の高齢者が通いやすい場所で教室を開催し、住民とともに安全かつ継続的な事業を展開していく。					
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭			
	一次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
	二次評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				

⑧二次評価	評価理由	健康体操事業は市民のニーズも高く、要支援・要介護状態になることを予防するための重要な事業である。一般高齢者施策との連携を含め、地域の高齢者が通いやすい場所で教室を開催し、住民とともに安全かつ継続的な事業を展開していく。		
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭
	一次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	二次評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

⑨個別計画における方向性	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	個別計画			
	次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				